

学年	教科等	単元等	活用アプリ
小5-中3	情報活用能力	フローチャート	オクリンクプラス

授業内容

手順をフローチャートに表そう

準備：

- ・共有コードを使用してカード（カード① * 4枚1セット、カード②、カード③）を取得する。
- ・準備したカードを子供たちのマイボードに送信する。

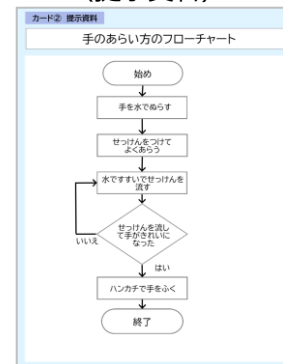
授業の流れ：

1. フローチャートを使うことで、手順を示したり、プログラミングなどの処理の順番をほかの人にも分かるように表せたりすることを、全体で確認する。
2. 各自、マイボードに送られたカード①を使って、手をあらうときの手順を正しい順番に並べ直す。
3. マイボードに送られたカード②の手のあらい方のフローチャートを見て、自分のカードの順番と合っているかどうかを比べてみる。各自、カードの手順と、フローチャートの共通点や違いを考える。全体で意見を共有する。（例、フローチャートでは順番だけでなく、条件を示せる、等）
4. 各自、そうじの手順や、時間で青から赤に変わる信号機の動きなどを題材にして、カード③にフローチャートに表す練習をする。ペアでフローチャートを説明し合い、カードを提出BOXに送信する。
※フローチャートを作るのが難しければ、まずはカードに手順を書いて、並べて整理してからフローチャートを作成することも可能です。
5. 何人かのフローチャートを例に、手順や処理の順番、条件の意味を、全体で確認する。
6. 全体で、フローチャートにした時のよさや、フローチャートに表すことの難しさを伝え合う。

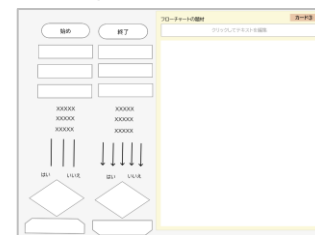
サポート
おすすめ
ポイント

- ・手をあらうときの手順をカードで整理してから、カードと提示資料のフローチャートを比較することで、より簡単にフローチャートを理解することができます。
- ・カード③のフローチャートの練習では、そうじの手順や、信号機の動きなどを題材にすることで、フローチャートをより身近なものとしてとらえることができます。

カード①：手をあらう順番

カード②：手のあらい方のフローチャート
(提示資料)

カード③：フローチャート



共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む



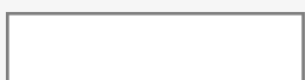
pb01KYRTZ3RV8QDY8X296XQ2VBWX

フローチャートの作成方法

フローチャートをつくるパーツを用意しています。

始め

終了



XXXXXX

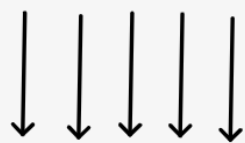
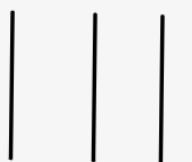
XXXXXX

XXXXXX

XXXXXX

XXXXXX

XXXXXX

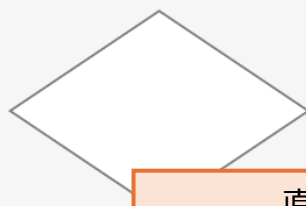
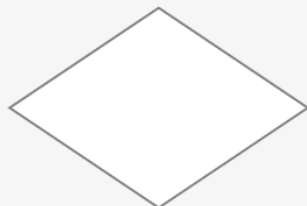


はい

いいえ

はい

いいえ



直線と矢印をつなげて曲がった矢印を表します

カード② 提示資料

手のあらい方のフローチャート

始め

手を水でぬらす

せっけんをつけてよくあらう

水ですすいでせっけんを流す

せっけんを流して手がきれいになった

いいえ

はい

ハンカチで手をふく

終了

矢印でパーツとパーツをつなげます

文字と図形は別々に動かします